



園だより

2024年5月1日

末長こぐま保育園

辻 敦美

風薫る5月、爽やかで過ごしやすい季節になりました。外遊びやお散歩では、草花や虫たちの様子に興味・関心を抱き観察に夢中な姿が見られます。子どもたちの学びを止めないように五感をたくさん使って、この時期に味わえる経験を楽しめるようにと考えています。また、日中は気温が高いことが予想されますので、汗をかいたらこまめに着替えをすることや水分補給に気を配ることに留意し、体調管理に十分配慮していきます。今月も、子どもたち一人一人のペースに合わせながら援助し、笑顔いっぱい園生活を送れるよう努めてまいります。

頼りになる、魔法の手を持つ「小さな先生たち」

新年度がスタートしてから1か月が経ちましたが、子どもたちは、進級した喜びから張り切る姿や環境の変化に不安や戸惑いなど、様々な心の動きが見られました。新入園児の子どもたちや保護者の方は、今まで過ごしてきた生活環境が一変したことで、毎日が緊張の連続と心配事が多かったことと思います。今までは、大好きなお父さん、お母さんの腕の中で抱かれ、見守られていた生活から一人で過ごす保育園生活が始まりました。別れ際に泣かれてしまうと園での様子がとても不安になり、気になったことと思います。しかし、末長こぐま保育園にはとても頼りになる「小さな先生たち」がたくさんいるので大丈夫です！4月上旬の出来事……。私は、泣いている乳児クラスの子の手を繋いで、気持ちの切り替えができそうな言葉をかけながら園庭にでると、その様子に気づいた幼児クラスの子もたちが次々と近寄ってきては、「だいじょうぶだよー」と言いながら頭を撫でたり背中をさすったりしてくれました。すると、泣き止んでくるのです！また、別の日は、「一緒に遊ぼう」と声をかけられると、私の手を離してお兄さんお姉さんの手を握って歩き出し、一緒にお散歩をしたり遊び始めたり、幼児クラスの子もたちは、まさに魔法の手！なのです。大人は、なんとかして早く慣れさせたい、そのためにはどうすれば良いかを考えますが、子どもはそのようなことを思う前に、目の前にいる子の様子をキャッチして自然に言葉や行動に表すからこそ、壁を感じずに懐に飛び込んでいけるのでしょうか。友だちが困っていたら笑顔で優しくしてあげる子どもたちの姿から、あらためて気づくことや学ぶことが多く、同時に、子ども同士が「育ちあう」場面に立ち会うことができたことは、私にとっての貴重な時間でもありました。この1か月は、子どもたちに助けてもらったことが多く、「小さな先生」たちに感謝の気持ちでいっぱいです。みんな、ありがとう！これからも、優しい心と友だちの気持ちに寄り添うことができる子どもたちを、職員全員で大切に育てていきます。



～今月の行事予定～

9日(木) 春の遠足(きりん組・ぞう組)

場所 市民プラザ

時間 9時20分

★お弁当のご用意をお願いいたします。

15日(水) 花の美保育室との交流保育
(乳児クラス)

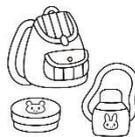
16日(木) サッカー教室(幼児クラス)

21日(金) 園医健診
避難訓練

24日(金) 英語で遊ぼう(幼児クラス)

30日(木) 誕生会

31日(金) 英語で遊ぼう(幼児クラス)



～お知らせ～

★6月より保育参加・参観を開始いたします。ご希望の方は担任までお声掛けください。

(5月はゴールデンウィーク明けで生活リズムが崩れやすい時期でもあるため、6月からとさせていただきます。)また、今年度よりご希望の方に給食提供をいたします。350円で後日徴収となりますが、保育参加・参観をお申し込みの際、担任までお知らせください。

★先月の前期懇談会では、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。各クラス、和やかな雰囲気の中お話しされている様子を見てとても嬉しく思いました。